

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
PROBOX

MAZDA
FAMILIA VAN

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

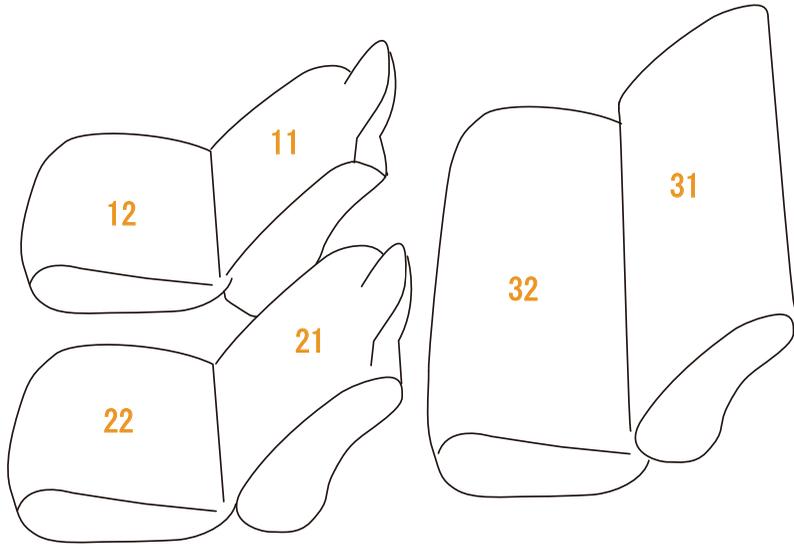
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…>	3P~4P
1列目座面の装着方法	…>	5P~7P
1列目背もたれの装着方法	…>	8P~9P
2列目座面装着方法	…>	10P~11P
2列目背もたれの装着方法	…>	12P~14P
完成図	…>	15P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…>	16P~17P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー
- ② 内張り剥がし ※クリップリムーバーなどの代用品でも可能です。
- ③ ソケットレンチセット（ソケット12ミリ）※12ページ5番の荷室固定用バー装備車のみ必要です。
- ④ ヘラ（付属）

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



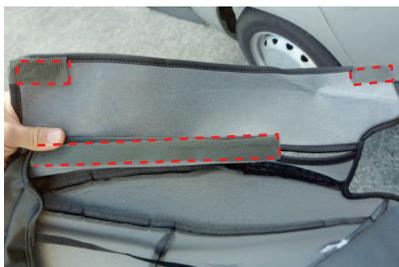
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1列目座面の装着方法



- 1** カバー裏側のマジックテープの位置を確認します。
内側の図の点線位置に、マジックテープが付いています。マジックテープには保護テープが付いている場合があるので固定をする前に外してください。
こちらのマジックテープは**14番・15番**の工程で固定します。



- 2** シート背面の生地を図のように外します。
生地はシート裏の金属にゴムを引っ掛けて固定されています。



- 3** カバーをシートのラインに合わせて、前から後ろへかぶせます。



- 4** シートベルトのバックルをカバーの加工穴に通します。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 6** シート背面から入れ込んだ生地を引き出します。
上の図はガソリン車のシートカバーになります。
下の図はハイブリッド車のオプションで運転席にシートヒーターを装備している仕様の図になります。
ハイブリッド車のシートカバーには、シートヒーターを装備している場合にも対応できるように、カバーには切れ込みを入れています。
シートヒーターの配線をその切れ込みでかわして、生地を引き出してください。
シートヒーターを装備していない場合は、切れ込みには何も通しません。



- 7 カバー前側に付いているベルトを、スライドレバーの上を通して、シート裏から背面側へ入れ込みます。



- 8 シート背面からベルトを引き出します。



- 9 引き出したベルトを6番で引き出した生地に付いているバックルへ通します。



- 10 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後が引き締まり固定されます。ベルトは強く引きすぎると縫製系が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますのでご注意ください。



- 11 シート背面は図のようになります。図はハイブリッド車のオプション・シートヒーター装備車になります。



- 12 シート外側のカバーを固定します。カバーの端に付いている固定部材を、生地と一緒にシートとプラスチック部の隙間に入れ込み固定します。



- 13** シート付け根の隙間は大変狭くなっています。ヘラなどを使用して、プラスチック部の内側に沿わせるように生地を入れ込みます。



- 16** シート内側面の窓の部分はプラスチック部に生地がかぶりません。こちらはプラスチック部とシートの隙間に生地を入れ込みません。



- 14** シート内側のカバーを固定します。1番で確認した一番幅の広いマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 17** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様に取付けます。



- 15** 14番でめくり上げていた生地を、シートとコンソールの隙間に入れ込みます。入れ込んだ生地の両端に付いているマジックテープを、シートの生地に直接貼り付けて固定します。

Step 2



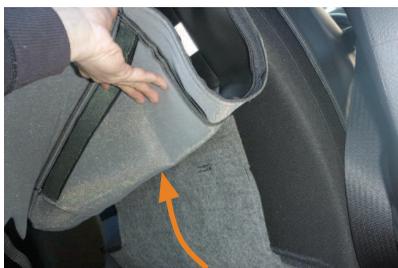
1 列目背もたれの装着方法



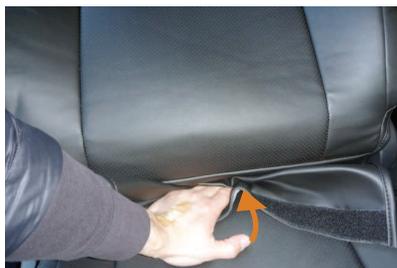
- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態でシートにかぶせます。まずヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりと馴染ませてください。



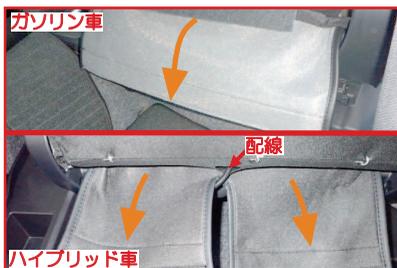
- 2 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。シート肩部の生地がしっかりと張るようにかぶせてください。



- 3 5 ページ 2 番で外した生地を、シート背面側へめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 5 シート背面から入れ込んだ生地を引き出します。上の図はガソリン車のシートカバーになります。下の図はハイブリッド車のオプションで運転席にシートヒーターを装備している仕様の図になります。ハイブリッド車のシートカバーには、シートヒーター装備車にも対応できるように切れ込みがあります。配線をかわして生地を引き出してください。シートヒーター非装備車は何も通しません。



- 6 カバー側面の生地を、図の①→②→③の手順で、生地が張るように中央へ生地を寄せ、それをシートの下に撫で下ろして徐々に馴染ませていきます。カバー側面の生地がしっかりと張るまで、繰り返し行ってください。



- 7 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。ファスナーを閉じる際は、工具などを使用して無理やり閉じようとする、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 8 5番で引き出した生地と、カバー背面下をマジックテープで固定します。



- 9 カバー背面下のゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 10 金属フックはシート裏からシートレールの上辺りにある、ある程度ゴムが伸びてフックが掛かる位置に引っ掛けて固定します。特定の位置はありません。シートレールに干渉したり、シートの動作に影響が出ない位置に固定してください。



- 11 図はシートの前側から、シートレールの内側を見た図です。こちらも特定の位置はありません。ゴムに張りが出る位置に取り付けてください。

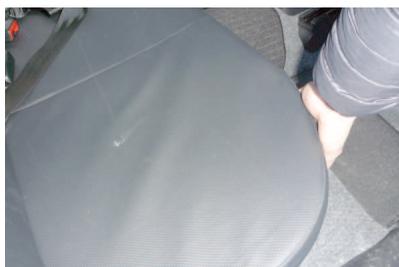


- 12 カバーのラインを整えて、1 列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3



2列目座面の装着方法



- 1** 2列目座面はシートを車体から外してカバーを取り付けます。シートはシート裏のフックで固定されています。まず**2番**の図でフックの位置を確認してください。シート裏のフックの両端に手を入れて、シートを真上に持ち上げて外します。フックの固定はかなり固いので、1か所ずつ慎重に作業を行ってください。



- 2** シートが外れた図です。フックは片側に2か所ずつあります。



- 3** シートが車体から外れたら、作業が出来る車外へ運び出します。この際、車体などに傷を付けないよう注意してください。



- 4** カバーを裏返して、シートのラインに合わせてみます。



- 5** シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- 6** シート裏で前後のベルト4本を固定します。ベルトの固定方法は6ページ**10番**を参考にしてください。



- 7 両端から出ているヒモの片方で、図のようにしっかりと結んだ輪を作ります。



- 10 背もたれカバー装着後、シートを車体に戻します。カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



- 8 もう片方のヒモを作った輪に通して引きます。そうするとカバーの下回りが絞り込まれます。その状態でひもが緩まないように結び留めます。



- 9 カバーのラインを整えます。シートは2列目背もたれカバー装着後、車体に戻します。

Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 シートを前に倒して、シート背面上側の金属のプレートを外します。
こちらはドライバーでネジを6本外すと金属プレートが外れます。



- 4 ネジを外すとプラスチックパーツが図のように外れます。



- 2 ネジを全て外すと金属プレートが図のように外れます。



- 5 シート背面に荷物固定用バー（コの字型の金属パイプ）が装備されている場合は、バーを外します。
ソケットレンチなどを使用して、バーを固定しているボルトを外します。ソケットは12ミリを使用します。



- 3 シートをロックする金属部分のプラスチックパーツを外します。
こちらでもドライバーを使用してネジを2本外すとプラスチックパーツが外れます。



- 6 ボルトを外すと荷物固定用バーが図のように外れます。



てこの原理で引き抜く

- 7 シート背面に合計7本付いている左図のリベットピンを、内張り剥がしなどを使用して外します。リベットピンは先端がギザギザになって固定されています。なるべくピン先が曲がらないように慎重に引き抜くようにしてください。



- 8 ピンを全て外すと、シート背面のカーペットが図のように外れます。



- 9 カバー側面のファスナーを開いた状態にしてカバーの装着を行います。まずシート肩部にあるシートのロックを解除するベルトを、運転席側・助手席側共にカバーの加工穴に通します。



- 10 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 11 背もたれの下から生地を入れ込み、シート背面から引き出します。



- 12 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら、慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際は、工具などを使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 13 ファスナーの端をカバーの中へ入れ込みます。



- 16 シート背面のカーペット・パーツ類を元に戻します。



- 14 11番で入れ込んだ生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 17 カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
この後、2列目座面を車体に戻してください。



- 15 シート背面の加工穴と、ネジ・リベットピンを固定する穴の位置がずれていないか確認してください。加工穴と穴位置がずれている場合は、シートカバーを調整して穴位置を合わせてください。
シートカバーには7番で外したリベットピンが取り付けられない位置にも、あらかじめ穴を開けている部分があります。
これは車体側のピン固定用の穴位置に合わせた仕様です。

完成図



1 列目



2 列目背面



2 列目



1 列目背面



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



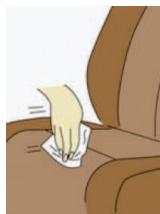
本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、柔らかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

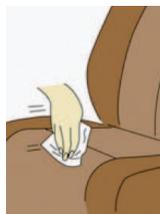
●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816